

喜多方市民憲章

解 説



喜多方市

令和2年7月1日

目 次

市民憲章の構成

1	前文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2	本文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	第1文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	第2文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	第3文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
	第4文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	第5文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
	第6文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4

(前文)

喜多方市は、会津の北方にあり、飯豊連峰や雄国山麓の雄大な自然と豊かな水、そして穏やかな風土に恵まれています。

その恵みを受け、「蔵のまち」として知られる私たちのまちは、人と自然と文化が共存する歴史と伝統に培われて発展してきました。

本市の更なる発展のために、この地を育んできた先人の知恵と精神を引き継ぎながら、市民が心をひとつに、夢がふくらむ、魅力ある喜多方市の未来をめざして、ここに市民憲章を制定します。

【趣旨】

前文は、市民憲章制定の趣旨や目的、背景、基本原則を述べたもので、市民憲章制定の理念を明らかにするためのものです。

【解説】

前段は、本市の自然環境について記載しています。市民にとって象徴である飯豊連峰や雄国山麓などの雄大な山並みに囲まれた本市は、平成 18 年 1 月 4 日に 5 市町村が合併し新たなスタートを切りました。阿賀川や日橋川をはじめ、飯豊山の伏流水などの水資源に恵まれ、自然災害の影響が少ない平穏な風土であることを表しています。

また、このような自然環境に育まれた人々によって、歴史や伝統、文化が脈々と受け継がれ、今日の「蔵のまち喜多方」の発展に繋がっていることを表しています。

後段は、喜多方市が未来に向かって発展していくために求められていることを記載しています。この地域に暮らしてきた私たちの先人は、美しくも厳しい会津の自然の中で得た不屈の精神、そして共に協力することで創意工夫を凝らし様々な困難を乗り越えてきました。未来への夢がふくらむ、魅力あふれる喜多方市を実現するためには、市民一人ひとりが先人の思いを継承しつつ知恵を出し合い、心をひとつに互いに協力し合うことが必要であることを表しています。

本文

(第1文)

元気で働き 心身共に健康で 明るい家庭をつくりましょう

【解説】

市民が、生き生きと働き心身ともに健康で、笑顔あふれる家庭を築くことが、心豊かなまちをつくる基礎となることを表しています。また、生きがいや張り合いを感じながら生きることが、心身ともに健康で過ごせる秘訣であるという思いも込められています。

(第2文)

敬愛の心で支え合い 思いやりあふれるまちをつくりましょう

【解説】

互いに相手を思いやり敬うことは、人と人とを結びつける基本です。老若男女の別なく相手の立場を理解し、支え合うことが思いやりあふれるまちづくりに繋がることを表しています。

(第3文)

郷土を愛し 教養を高め ゆかしい文化のまちをつくりましょう

【解説】

市民一人ひとりが、先人の足跡である本市の歴史に関心を持ち、脈々と培われてきた伝統や文化を理解し、郷土への思いを深めていくことが、ゆかしい文化のまちづくりに繋がっていくことを表しています。

※「ゆかしい」：気品・情趣があり、どこことなく心がひかれる様。

(第4文)

自然を愛し まちや川の美化に努め 美しい景観を守りましょう

【解説】

本市は、周囲の雄大な山々や豊富な水資源を運ぶ河川などにより、多くの恩恵を受け発展してきました。こうした自然の恵みに市民一人ひとりが感謝するとともに、身近な環境美化に努め、それらを後世に引き継ぐ責任があることを表しています。また、田園地帯が広がる風光明媚な光景や歴史的なまち並みとともに、季節を彩る花木が豊富に存在していることから、こうした地域資源を活かした美しいまちづくりを市民が協力して進めていくという思いが込められています。

(第5文)

きまりを守り 力を合わせ 住みよいまちをつくりましょう

【解説】

市民一人ひとりが、社会の一員としての自覚と責任を持ち、法令等を遵守することの大切さを表しています。また、互いに協力しあい、自然災害対策や事件事故防止に向けた取り組みを推進し、安心して暮らせるまちづくりを目指していくことを表しています。

(第6文)

交流の輪を広げ 人を育て 誇りと自信をもって歩みましょう

【解説】

本市は、これまで人・地域・学問等の交流を通して、次代を担う人材を育て、多様な文化、産業等を発展させてきました。

未来への夢がふくらむ魅力あるまちづくりを進めるために、更にその交流の輪を広げ、新たな時代を生きる人材を育て、喜多方市民として誇りと自信を持って歩むことの大切さを表しています。